

シームレスな位置情報検出を実現する高精度角速度センサチップの研究開発（株式会社国際電気通信基礎技術研究所）平成16年度採択評価結果

整理 番号	評価点		総合所見
16 - 03	技術 評価	48	<p>研究代表者のオリジナルである二次元キャビティレーザダイオードをコアデバイスとした高精度かつ超小型な角速度センサチップを開発し、これをもとに自律的な位置情報を高精度で検出する技術を開発する研究課題である。提案されているセンサチップは、従来のセンサに比べてけた違いに高性能、小型という特徴を有し、極めて高い技術水準のものである。このセンサチップは、船舶、航空機、宇宙などの産業用をはじめ、手ぶれ防止、姿勢制御、カーナビ、携帯端末などの民生用途を含めて極めて広範囲な応用が考えられる。低価格なセンサチップの提供によって新たな市場創出効果も期待でき、本研究開発は基盤技術性及び波及効果の高い研究開発であると評価できる。</p> <p>事業化について、提案者自身は本分野での事業化実績はないが、ジャイロセンサを販売している提携先企業との共同開発であり、また事業化のプロセスも開発中から技術移転を考慮したものになっており妥当な内容である。事業化の体制は、提携先企業の事業化部門からの開発者の出向により共同開発を行うこととしており、技術移転の面でも問題ないと認められる。圧倒的高精度、超小型という研究成果の魅力度をもとに、ロイヤリティを高めに設定しているが概ね妥当と判断でき、これらに基づく売上高予測も堅実なものとなっている。センサ単体での価格を小さく設定しているため、どれだけの数量が市場的に想定されるかにより、ある程度売上高には幅が出るが、移動する人、車、動物、重要な荷物などを対象に適応できるものであるため、潜在的に大きな数の市場が期待できる。</p>
事業 化 評価	45	93	